

高校生の皆さんへ

経営情報工学 後藤研究室 へようこそ

「経営を科学する！」と聞いてどんなイメージを持ちますか？（笑）

私の研究室では、とても広い意味で「経営を科学する！」を実践しています。経営というのは日本語で言うと会社の経営を思い浮かべるかも知れませんが、英語で言えばマネジメント。皆さんの勉強や部活動、アルバイト、友達関係、・・・人や人のグループ、もっと広く言えば社会の全てにおいてマネジメントは必要ですね。

例えば、企業の活動で最も重要であるマーケティングがあります。一言で言えば「魅力的で売れるモノを作ること」といったところです。商品企画や広告制作という、たいへん面白そうなイメージを持つかも知れませんが、いわゆる作り手のセンスが問われる仕事だと感じるかも知れません。しかし、このように一見、人間の感性のみに委ねられそうなことも、**実はきちんと分析的にとらえ、科学的な視点から実践する方法が重要なのです。**

最近の企業経営では、少し前から「ビジネスモデル」という言葉が流行しました。ビジネスモデルは「ビジネスの設計図」のことです。「え??? ビジネスの設計図なんて、どう描くの？」と疑問に思うかも知れませんが、家や機械、プラモデルの設計図なら少しはイメージできますか？ では、「人間の諸活動の設計図」は一体どうやって描いたら良いのでしょうか？ 企業には、建物や機械設備などの資産の他に、たくさんの人々が働いています。最近では、どの企業にもコンピュータが入り込んできました。コンピュータは単なる機械ですが、実際には「それをどう使うか？」によって結果は全然違ってしまいます。人間とコンピュータが複雑に関係した仕事の全体像は、うまく設計図で描けますか？ きちんと設計図を描いてから、仕事をデザインできますか？ このようなテーマは、高校までに習った教科のどれかだけで解決する問題ではありません。本当に広く、色々な分野を横断的に見る**視野の広さ**、そして**分析的に考える素養**が必要なのです。

「私は文系！ 君は理系！」などと言っている場合ではないのです（笑） 文系の人ほど、実は理系の素養を身につける必要性を後になって感じるでしょう。理系の人ほど、実は文系の素養が必然であることに後になって気がつくでしょう。

だから「環境情報学部」なのです！

かく言う私も、環境情報学部にいる多様な分野の教員と様々な研究プロジェクトと一緒に進めています。ネパールやオーストラリア熱帯雨林を相手に。全く専門分野の異なる先生たちと日々勉強です。とても楽しい勉強です。

世の中には本当に面白いテーマばかり転がっています。私の研究室では、企業だけが対象ではありません。広い意味で人間を取り巻く環境、社会環境、ビジネス環境の全てが対象です。教育 Web コンテンツ製作のマネジメント、リハビリテーション医療のマネジメント、介護福祉活動のマネジメント、環境教育のマネジメント、モノの流通のマネジメント、・・・様々な難しいテーマに学生が日々格闘しています。時には企業で活躍する一線のビジネスマンと議論しながら、時には介護福祉施設の専門家と議論しながら・・・

そんな私の研究室からも、製造業、コンサルティング企業、コンビニエンスチェーン、情報システム関連企業、販売代理店、銀行、人材派遣企業など、幅広い業界へ就職を勝ち得た学生が輩出されるようになりました。ここで学んだマネジメントの方法論は、どのような場面に言ってもきっと役立つはずですよ。もし興味があればいつでもドアをノックしてください。私たちの研究室の活動は、ホームページ (<http://www.yc.musashi-tech.ac.jp/~goto-semi>) でも見ることができます。希望に満ち溢れた皆さんの顔を見られることを心待ちにしています。

